

女乙八

井波町植樹祭

五月二十八日

閑乗寺公園にて



杉を植え大臣桜植う子達 朝倉一緒

消費拡大に思う

前川 衛

近頃は飽和の時代と言われております。しかし飽和しているのは作る側の論理であります。商品が充足されていない時代には、衣食住を中心に生産企業の宛行扶持であっても消費者は買わざるを得ませんでした。

過去の消費の変化は、昭和三十年代には三種の神器の出現であり、昭和四十年代はBCの普及をみました。企業では便利で安い機能中心の商品作りに専念しました。昭和五十年代に入ると消費者の日常生活の基盤は衣食住中心から生活の力点はレジャー・余暇生活中心に変化をし、昭和五十三年には食生活を上まわり、五十八年には住生活をも上回って十年間に大きな変化を致しました。

個人消費はGNPの最大需要項目であり、国内の消費が伸びれば総需要増加に大きく寄与するといわれております。日本には内需拡大を世界的に強く求められているにもかかわらず、拡大されないのは、過去の衣食住中心で、量充足をベースに、安くて便利だけの商品では金あまりであっても消費者に見向きもされないからではないだろうか。

今後の消費者は、面白いこと、楽しいこと、所有し使用することで心が浮きたつような商品、潜在的欲求を見つけて刺激を与えてくれる商品望んでおります。

現代の企業社会のニューコンセプト(新しい事業概念)として、美しいもの、感性豊かなもの、遊び心の溢れるものであって、創造性あるものでないと人々の心をひきつけることが出来ません。企業も美感遊創をベースに、タイミング良く商品消費者に提供すれば、消費は徐々に拡大すると考えられます。

公民館のおもな予定

- 四月 運営審議委員会(毎月五日)
- 五月 運営委員会(随時)
- 五月 スポーツ推進委員会(随時)
- 六月 環境美化運動(蚊・ハエ防除)
- 六月 フレッシュテニス大会(6/22、6/27)
- 六月 公民館報発行
- 七月 環境美化運動(蚊・ハエ防除)
- 七月 教育懇談会
- 八月 納涼大会
- 八月 バレーボール大会(8/16)
- 八月 体力づくりレクリエーション(8/23)
- 九月 地区体育祭(9/27)
- 十月 町体育祭(10/11)
- 十月 公民館報発行
- 十一月 スポーツ教室開講
- 十一月 地区文化祭(11/15)
- 十二月 ビーチバレーボール大会
- 十二月 教育懇談会
- 一月 新春のつどい(1/14)
- 一月 公民館報発行
- 三月 公民講座

七月二十一日(火) 朝六時三十分

みんなそろってラジオ体操

青少年育成町民会議南山見支部

南山見公民館 昭和61年度収支決算・62年度収支予算書

収入の部

項 目	61年度決算額	62年度予算額
1. 事業管理交付金	(1,081,000)	(1,081,000)
活動振興交付金	265,000	265,000
維持管理交付金	756,000	756,000
コミュニティ活動推進交付金	60,000	60,000
2. 運営賦課金	528,800	530,000
3. 使用料	38,973	40,000
4. 雑入金	10,188	5,659
5. 前年度繰越金	122,254	148,341
合 計	1,781,215	1,805,000

支出の部

項 目	61年度決算額	62年度予算額
1. 総務費	(284,338)	(285,800)
旅費	15,000	15,000
諸費	8,920	10,000
需要費	117,138	130,000
役務費	36,280	50,000
使用料・賃借料	0	5,000
原材料費	10,000	10,000
備品購入費	36,400	10,000
公民館総合保障	60,600	55,800

項 目	61年度決算額	62年度予算額
2. 維持管理費	(867,686)	(900,000)
維持管理費	747,686	780,000
夜間管理委託費	120,000	120,000
3. 事業費	(305,850)	(370,000)
環境美化	30,000	30,000
フレッシュテニス大会	30,790	30,000
体力づくりレク	8,922	10,000
バレーボール大会	21,210	20,000
地区体育祭	43,150	45,000
ビーチバレー大会	20,035	30,000
町体育祭	5,000	50,000
納涼大会	8,350	20,000
地区文化祭	57,613	50,000
成人祝い	10,780	20,000
公民講座	10,000	5,000
広報費	60,000	60,000
4. 委託費	80,000	80,000
5. 助成費	50,000	50,000
6. グラウンド設備積立金	45,000	
7. 予備費		119,200
8. 次年度繰越金	148,341	
合 計	1,781,215	1,805,000

昭和60・61年度 舞台製作協力金 収支報告書

1. 収入の部

項 目	金 額
協力金	517,800
合 計	517,800

2. 支出の部

項 目	金 額
ステージ台	370,000
合 板	60,000
引き幕設備	77,350
雑 費	7,730
合 計	515,080

3. 差し引き残高 2,720円は雑入金として公民館の収入へ。

各種団体の主な活動予定

3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	
定期総会		新成人を祝う会	学習会 忘年会		青年祭	交通安全マスコットづくり	学習会	一斉防除 サマーキャンプ	学習会 女子ねぐら学習	陸上競技大会	花見会 新入団員歓迎会	青年団
定期総会	室内レクリエーション大会				学習会		スポーツ大会	一泊研修	スポーツ大会	町長と語る会	新期交流会	成年部
研修会・総会	教養講座		盆裁講習会	農事反省会					庭木講習会 農事講習会	盆裁講習会 マレットゴルフ大会		壮年部
総会	講演会	新年初顔合せ	ねずみ駆除	料理講習会		敬老会	廃品回収	社会見学	環境美化運動 せんたく講習会			婦人会
閉講式	修養講座	体力づくり		「これからの 婦人の生き方」	洋食テーブルマナー		郷土の歴史 「六百年前の井波」	社会見学 越前大仏と永平寺	開講式と講演 「家庭と子供」			婦人学級
					保養旅行	マシ園と老人ホームの趣聞		清掃奉仕 (瑞泉寺)	保養旅行 老人スポーツ大会	交通安全教室		老人クラブ
閉講式	「老人の家庭教育」	「老人と宗教」	三世代交流会		「仏の教え」 「老人の健康法」		「郷土の歴史」	「宗教と老年より」	「老人と社会生活」	開講式と講演		高齢者教室
退団式	森林教室			野外学習 花壇づくり			体験学習(立山町) 研修と夜のつどい		野外学習 花壇づくり	町植樹祭	入団式	児童クラブ みどりの少年団
おわかれ会	雪像コンテスト		クリスマス会	野外学習	町風上げ大会	凧づくり教室	研修と夜のつどい	防犯ソフト大会 研修と夜のつどい	(母) 講演会 野球・ソフト大会	野外学習 (母) 講演会	運動会	母親クラブ 児童ク有成会
				生活発表会			早朝マラソン	交通安全教室	講演会			たんぽぽ学級

十周年を迎えるにあたって

公民館壮年部

壮年部の結成は、南山見公民館の建設と同じ昭和五十三年二月二十三日で、本年度に十周年を迎えることとなります。

壮年部の目的は、会員相互の親睦と団結によって、地域の発展と会員の教養・文化の振興、またスポーツによる体育の向上につとめ、公民館活動に理解を深め、支援と協力をし、常に社会的地位の向上につとめ、民主的・平和的な町づくりをするとして、常に考え現在に至っています。

壮年部は一家の大黒柱で多忙な日々の中、行事として盆栽、庭木管理、農事の講習会、研修会と自分達の教養の場とし、スポーツとしては、マレットゴルフを壮年部のメインスポーツとしております。

これからも、これらの行事を大切にし、会員相互の理解のもとに未永く活動して行きたいと思っております。

◆第四回マレットゴルフ大会(5/31)

- 団体優勝 沖 個人優勝 村松良夫
- 次勝 谷 次勝 山本安俊
- 参勝 院二 参勝 前田安夫

野外学習と写生会

みどりの少年団 岩崎 泰明

十一月二日、写生会・アスレチック・自然観察などの目的で、石川県森林公園へ行きました。行く時、一台のバスが道をまちがえ全体的に少しくおくれしてしまいました。

着いてから、まず写生を始め、ぼくは二本の木を中心に書いたけれどなかなかうまくいかなかった。コンテで書いたので書き直せなくて残念だった。もうどうでもいいという気持ちで絵を出しに行きました。みっともない絵だったので人に見られたらどうしようと思ひ、かくすようにして絵の方を画板につけて、うらの自分の名前を所に体についたりとかつけながら出しに行ったら、なんとなく不安だった。

「絵を書き終った人からアスレチックで遊んでいいぞ」と言われたのでパックと走って行きました。行ってみると、もう友達が来ていたので、いっしょに遊んできました。

十一月十六日の文化祭の日、その絵を書いた人の分、全部がかざってあったので、とてもはずかしかった。

受賞おめでとう

第十九回井波町社会教育大会表彰

沢田武夫・前川きくい
昭和61年度優良みどりの少年団表彰
井波みどりの少年団

富山県スポーツ奨励賞

岩崎義一・田中美智子
第八回町民マレットゴルフ大会
男子の部団体優勝 里領Aチーム
女子の部個人二位 高橋 幸子

昭和六十二年度

公民館役員紹介

公民館運営審議委員

滝田栄三・前川衛・山本太作・松田
稔・銅俊昭・朝倉毅・倉嶋悦子・龜
田信一・村田文夫・須川利夫・朝倉
一夫・倉嶋清時・原田米治・前川順
作・沢田秀子・須川俊行・林律子・
前川恵子

公民館運営委員

高橋武志・篠原勇吉・山本彰・山本
哲明・植生宣夫・龜田信一・久恵博
明・松井清一・前田充幸・高田信一

池田俊雄・横江明雄・岩崎義一・山
口賢治

公民館スポーツ推進委員

前川敏彦・田中一昭・山本彰・蓮田
登・狩野和浩・龜田信一・渋谷美一
池田謙二・前田吉信・小橋閑吉・高
戸孝司・横江清隆・岩崎孝進・富田
豊志・滝田栄三・直江喜美代・青山
誠・銅俊昭・宮嶋敏之・松田泰平・
徳成花枝・山本良子・林みつ子

編集後記

定数削減による初の町議選出。年
度が改まり恒例の新事業計画と役員
の改選。「新しい酒を新しい皮袋に
盛る」が期待される。

折からのベネチアサミット。農産
物の市場開放も取上げられたとか。
生産者米価の引下げが当然のこと
とささやかれている。目まぐるしく
変る世の中。自然を尊び連帯感を強
めて行くことが原点ではないか。
田祭や草木を渡るあゆの風 普羅

